

耐震工事

大地震に対する備えは、災害用の備蓄や震災訓練などの「地震が起こった後の対策」だけではなく、今お住まいの住宅を地震に強くする「地震が起こる前の対策」をしていくことが大切です。

住宅など建物の耐震化は、そこにお住まいの方の生命や財産を守ることはもちろんのこと、地震で倒壊した建物が道路を塞ぎ、避難や消火活動等を妨げることを防止するなど、緊急時の安全性において、地域全体の問題でもあります。

個々の建物の耐震性を高めることで、地域の防災性がさらに向上し、安全なまちづくりにつながります。



強い壁をバランスよく増やす



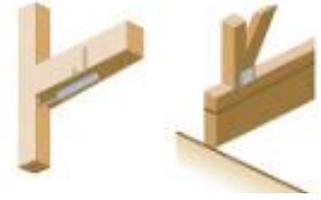
筋交い設置 構造用合板設置

強い壁を1.2階同じ位置、建物の隅に配置すると効果的です。

屋根を軽量化する

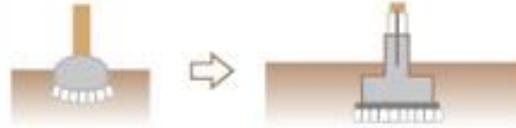
瓦などの重い屋根材を鉄板などの軽い屋根材にふき替え。

柱・土台・梁・筋交いの結合部分に金物を使用



羽子板ボルト設置 筋交いプレート設置

玉石基礎の場合、鉄筋コンクリート造の布基礎に替えて、土台をアンカーボルトで締め付ける



玉石基礎

鉄筋コンクリート造布基礎

腐ったり、シロアリによる被害のある部分を取り替える

